



2019春闘シリーズ②



営業収益・運輸収入は第3四半期決算でも過去最高!

1月30日、JR東日本会社は、2018年度第3四半期決算概要を発表しました。単体決算では、営業収入・運輸収入が、連結決算では営業収益が7期連続の増収、かつ、第3四半期としては過去最高となりました。また連結決算の経常利益・親会社株式に帰属する四半期純利益が過去最高となりました。

増減率はいずれも第2四半期より良化!

○損益計算書

(単体決算/単位:億円)

		第3四半期累計(4月1日~12月31日)				
		2016年度 実績 A	2017年度 実績 B	2018年度 実績 C	増減	
					金額 C-B	% C/B×100
単体	営業収益	15,616	15,806	15,978	171	101.1
	うち運輸収入	13,757	13,926	14,080	154	101.1
	営業利益	3,583	3,750	3,692	△58	98.4
	経常利益	3,197	3,459	3,392	△66	98.1
	四半期(当期)純利益	2,279	2,418	2,395	△23	99.0
連結	営業収益	21,613	22,070	22,531	461	102.1
	営業利益	4,156	4,377	4,405	28	100.6
	経常利益	3,688	3,996	4,044	47	101.2
	親会社株式に帰属する 四半期(当期)純利益	2,531	2,688	2,727	39	101.5

決算概要をしてみると、単体決算は、増収減益。営業収入は7期連続の増収かつ、第3四半期としては過去最高。一方で、動力費や部外委託費の増などにより物件費等が増加したことなどにより、全ての利益が減益となりましたが、増減率はいずれも第2四半期よりも良化しました。

連結決算は、増収増益。営業利益は7期連続の増収かつ、第3四半期決算として過去最高。また、経常利益・親会社株式に帰属する四半期純利益が過去最高となりました。

賃金引き上げを勝ち取ろう!